



茂呂 孝志 議員

大池公園整備反対なら事業中止か

坪根町長

多くの町民が反対とは思っていない

問 九州一輝く町づくりを実現するため、大池公園整備事業が職員のクリティカルな向上、産業の発展、福祉の充実などの更なる高みを目指せるというが、その理由は。

永野課長 この事業の整備の視点を観光拠点、経済拠点、生活拠点の創造と考えている。具体的には新



大池公園イルミネーション

問 住民が納得しなければ、事業を中止するのか。

永野課長 担当課としての意見ですが、住民全てが賛成という事は難しいと思う。最終的には議会においては、住民に十分な説明を行い、承認いただくということになると思う。

坪根町長 高速道路が開通し、スマートインターチェンジができることで、町の新たな顔を作りたいと思っている。また住民の方からも何かやつてくれという声も頂いている。大池公園周辺を町の玄関と位置づけ、しっかりと整備を行いたいと考えており、必ずしも多くの方が反対しているとは思っていない。

就学援助制度の改善は 考え方

古原教務課長

問 国は、22年から就学援助の給付内容にPTA会費、生徒会費、クラブ活動費を追加してもよいと言っているが。

問 大池の西側の山を15メートルも削れば、現在の美しい自然の景観が壊れてしまうのではないか。景観設計に優れた業者というが本当にこの設計でいいと思つていいのか。

坪根町長 事業の費用対効果を考えた場合、しっかりとした駐車場は必要であり、西側の山は削るところの先の山が見えるので、景観は壊されないと思っている。

岩花 寛之 議員

高齢者の移動手段の確保は

岡崎総務課長

スタッフの増強と併せて考える

問 当町の認知症に対する取り組みは。

末松長寿福祉課長 28年度から、認知症カフェで悩み事を話し合う場の提供や、認知症初期集中支援チームを発足させ、認知症初期対応の指導や助言を行っている。

問 来年3月から認知症対策を強化した、道路交通法の改正が行われるが、当町としての対策は。

岡崎総務課長 29年度の予算編成中ではあるが、民間の交通キャリアなどを利用した助成制度などを検討している。

問 免許返納をしないために、まずは認知症にならない対策を長寿福祉課でしっかりと行い、免許を返納した場合でも、上毛町で暮らしていくことへの不安のない取り組みを希望するが、町長の所感は。

問 免許返納をしないために、まずは認知症にならない対策を長寿福祉課でしっかりと行い、免許を返納した場合でも、上毛町で暮らしていくことへの不安のない取り組みを希望するが、町長の所感は。

問 高齢者の移動手段の確保と効果的な広報が、定住促進の一つの手段になると考えるが、町長の所感は。

問 社協の広報誌だけでは子供達や他の地域の方が見れないため、ホームページなどで広報を拡充できないか。

答 法人であるため、その法人の考えを尊重しながら、所管する長寿福祉課などから今後、情報化の推進について積極的に働きかけを行っていくと認識している。

ズに応えていきたい。

公共施設マネジメントの進捗は

問 企画情報課所管分については。

福田企画情報課長 観光施設での外国人向け多言語案内板は、今年度中に補助事業を協議し29年度には完成予定。婚活事業は民間企業と連携を取りながら実施に向け協議中。Wi-fi施設の整備は道の駅、大平楽、複合センター、げんきの杜などに国交省や総務省の補助事業などを活用し、29年度の協議を行つており、本年度中にしを完了している。本年度は計画案を作成し、現在事務レベルで進行について積極的に働きかけを行つていて認識している。

問 現在の進捗と今後の見通しは。

岡崎課長 昨年度、公共施設の現況調査、維持管理コストの洗い出しが完了している。本年度は計画案を作成し、現在事務レベルで実施に向け協議を行つており、本年度中に素案を作成し、現在事務レベルで協議を行つており、本年度中に策定見込みである。

問 基本的な方針は。

岡崎課長 保有量の適正化、施設性能の向上や長寿命化などトータルコストの削減と効率的な管理活用を基本方針としている。

問 公共施設マネジメントは大変重要な計画であり、現在策定中の総合計画とも関連する。住民の皆さんにも納得できる計画にするため、無作為のアンケート実施などの計画は。

問 過去2年間の一般質問のその後の進捗状況について、総務課所管分は。

岡崎課長 無作為抽出のアンケートを1500名程度予定している。

振り返り過去の一 般質問の

問 過去2年間の一般質問のその後の進捗状況について、総務課所管分は。

岡崎課長 提出議案の論点整理

は本年度の当初予算以降、資料の統一を図つていて。

問 企画情報課所管分については。

福田企画情報課長 観光施設での外国人向け多言語案内板は、今年度中に補助事業を協議し29年度には完成予定。婚活事業は民間企業と連携を取りながら実施に向け協議中。Wi-fi施設の整備は道の駅、大平楽、複合センター、げんきの杜などに国交省や総務省の補助事業などを活用し、29年度の協議を行つており、本年度中にしを完了している。本年度は計画案を作成し、現在事務レベルで実施に向け協議を行つており、本年度中に策定見込みである。

問 開発交流推進課所管分については。

永野開発交流推進課長 上毛SICの広報活動については、民間連携など可能になる時期を見越して検討する。民間アパートの借上げ、建設補助金については町営住宅の建て替えや、空き家対策に重点を置く。

問 住民課所管分については。

佐矢野住民課長 マイナンバーの利活用については、民間連携など可能になる時期を見越して検討する。NEXCO西日本の協力を得て、主要サービスエリア、パークイングエリアへPRパンフレットを設置している。

問 住民課所管分については。

古原教務課長 国の基準においては、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費などの項目がある。町としては、全児童を対象に自転車用ヘルメット助成、各クラブ活動費への助成、県大会以上の大会に出席する場合の遠征費の助成、体育の剣道で使用する防具の貸し出しなどを行つてている。他の自治体に負けない十分な支援を行つていて。

問 企画情報課所管分については。

福田企画情報課長 観光施設での外国人向け多言語案内板は、今年度中に補助事業を協議し29年度には完成予定。婚活事業は民間企業と連携を取りながら実施に向け協議中。Wi-fi施設の整備は道の駅、大平楽、複合センター、げんきの杜などに国交省や総務省の補助事業などを活用し、29年度の協議を行つており、本年度中にしを完了している。本年度は計画案を作成し、現在事務レベルで実施に向け協議を行つており、本年度中に策定見込みである。

問 企画情報課所管分については。

福田企画情報課長 観光施設での外国人向け多言語案内板は、今年度中に補助事業を協議し29年度には完成予定。婚活事業は民間企業と連携を取りながら実施に向け協議中。Wi-fi施設の整備は道の駅、大平楽、複合センター、げんきの杜などに国交省や総務省の補助事業などを活用し、29年度の協議を行つており、本年度中にしを完了している。本年度は計画案を作成し、現在事務レベルで実施に向け協議を行つており、本年度中に策定見込みである。